



武 一 中

令和 8 年 4 月 9 日
武蔵野市立第一中学校
学校だより R8-1 号

[URL:https://dai1-jh.musashino-city.ed.jp/](https://dai1-jh.musashino-city.ed.jp/)

千里の道も一歩から

校 長 中嶋 建一郎

4月8日の入学式で、128名の呼名の後に新入生に向けて話した内容です。

今日の入学式にあたって、新入生の皆さんに「千里の道も一歩から」という言葉を贈りたいと思います。この「千里の道も一歩から」とは、どんなに大きな目標や、やり遂げたいことも、まずは最初の一歩から始めることが重要であるという意味です。私は、この一歩に2つのとらえ方があると思っています。

ひとつは、一歩を踏み出すということです。小学校を卒業して、中学生になったという一段、階段を上った感じがする今、何か新しいことを始めてみようと考えている人がいると思います。「これいいかもしれない」と思うことに一歩踏み出しましょう。また、そんな友達に影響されて、自分も何か始めてみようと思う人もいるかもしれません。それでいいんです。周りを真似して、一歩踏み出してみましょ。まだ友達もいないし、将来の目標もないし、何をしたらいいかわからない人もいるでしょう。そんな人は、特に意識しなくても目の前に現れた新しいことに気後れすることなく、挑んでいくだけでいいのです。将来、後から考えると中学生の時にスタートしたことが始めの一歩だったと思うことがあるかもしれません。

もうひとつの一歩のとらえ方は、その一

歩は、あくまでも自分の一歩ということです。無理して大股にしたり、ジャンプする必要はありません。皆さん一人ひとり、歩幅が違います。周りを気にすることはありません。自分の一歩を踏み出すのです。むしろ、歩幅の狭いほんのちよつとの一歩でいいと思います。歩み続けるのが大切なのです。時には足踏みもあるかもしれませんが、歩みを続けるのです。

皆さんの千里の道は、勉強かもしれませんが、部活動かもしれません。あるいは、趣味の道かもしれません。その道を歩いていくのに2つのアドバイスがあります。また2つです。

ひとつは、1人ではなく、仲間と一緒に歩くのです。つらい時やくじけそうになった時、励ましあい、勇気をもらえます。

2つめは、アドバイスをもらうことです。その道の先を歩いている人が必ずいます。歩きやすいルートや難しいときの乗り越え方などを教えてくれるはずですよ。

「千里の道も一歩から」という言葉、皆さんの頭の片隅に残しておいてください。
~~~~~

4月7日の始業式では、三谷幸喜さんの「勝った試合からは何も学べない。負けた時に人は成長する」という言葉を紹介しました。私はこの言葉に負けを恐れぬ勇気をもらえるように感じました。

保護者の皆様へ 学校だよりでは、式典や朝礼での校長の話を中心にお伝えしていきます。お子さんとの家庭での対話の材料としてご活用ください。1年間よろしくお祈りします。